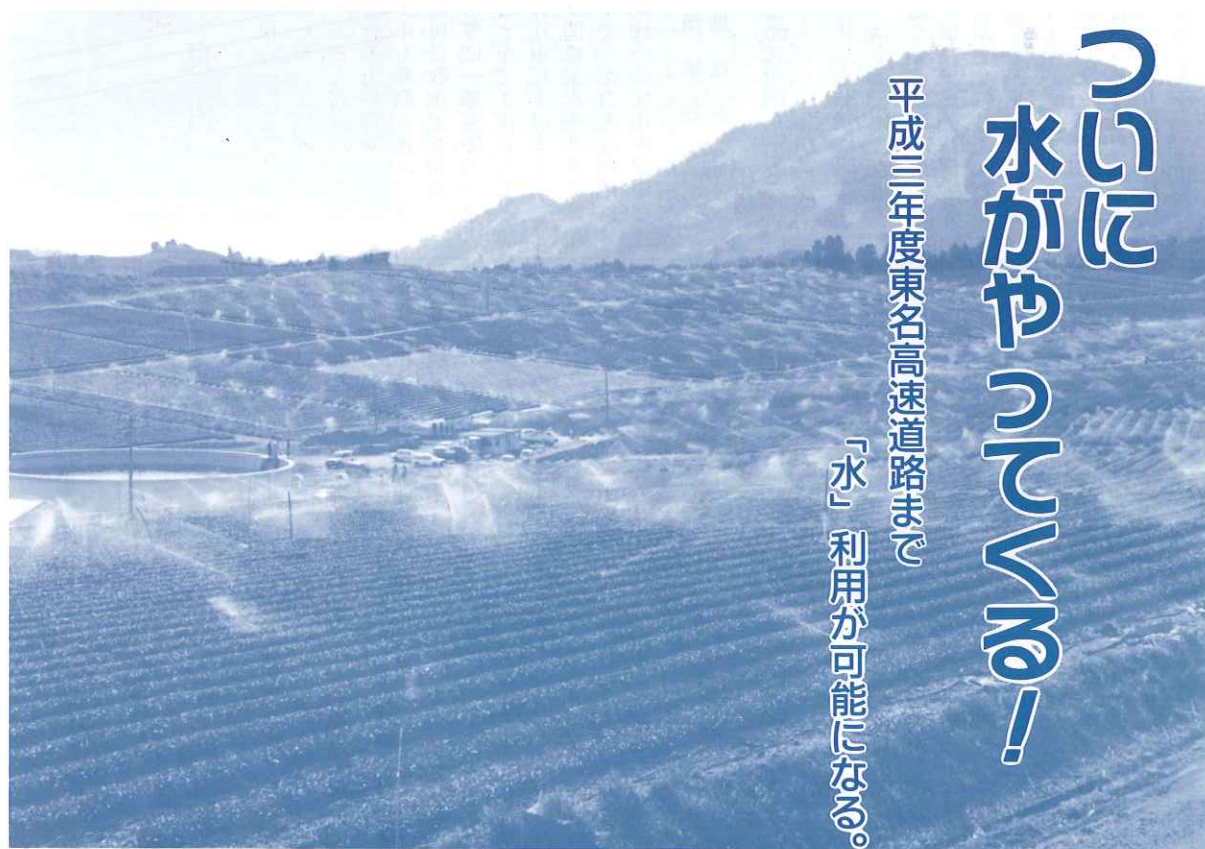


# 牧之原 だより

第 14 号  
平成2年11月30日

発行  
牧之原畑地総合整備土地改良区

〒427  
島田市中溝町1726-4  
☎ <0547> 36-0984(代)



ついに  
水がやってくる！

平成三年度東名高速道路まで

「水」利用が可能になる。

あいさつ



牧之原畑地総合整備  
土地改良区

理事長 加藤 太郎

組合員の皆様には、日頃から畑  
総事業の実施にご協力をいただき  
ありがとうございます。

私共の土地改良区も、去る昭和  
四十八年十月設立以来十七年目を  
むかえ、その間国・県・市町のご  
指導・ご支援により基盤整備事業  
畑地用水事業が着々と進み、昨年  
六月には待望の「大井川の水」が  
牧之原台地に揚り、スプリンクラ  
ー施設・給水スタンド等により水  
利用が図られている。

平成三年度には、東名高速道路  
付近までの水利用が可能になり、  
牧之原台地全域に「水」が行き渡  
るのも、近い将来と考えられます。  
お茶を取り巻く環境も、楽観で  
きない状況ですが、この「大井川  
の水」を利用した新しい牧之原農  
業を模索し、地域に適合した維持  
発展を目指すことが我々の責務と  
思います。

今後共、皆様方のご支援・ご協  
力を賜りますようお願い申し上  
げあいさついたします。

## 新任のあいさつ



関東農政局  
牧之原農業水利事業所

次長 山本 良吉

四月一日付けで関東農政局総務部管財課から転勤して参りました。私は、昭和五十八年から二ヶ年間、磐田市にありました国営天竜川下流農業水利事業所（事業完了に伴い閉鎖）にお世話になりました。

今回、五年振り二度目の静岡県への勤務となりますが、農業・農村をめぐる情勢はめまぐるしく変化しており、新任務の遂行に当りましては微力ではありますが、新

たな気持ちで精励いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

おかげをもちまして、牧之原農業水利事業も皆様方の御協力によりまして、工事も順調に進み、平成二年三月に川口取水工が完成し、かんがい用水等に一部茶園で、水利用を図ることができましたことに対し厚くお礼申し上げます。

近年、我が国農業を取り巻く厳しい環境の中で、活力ある地域農業の確立と農村の活性化を図るこ

とが重要とされております。

それも、米等一部農産物の需給不均衡からの生産調整の実施、国際化の進展の中での農産物貿易の自由化に伴う輸入農産物の膨圧など、さまざまな恵環境の中での対応が緊要な課題となっておりますが、地域の立地条件に即した基盤整備事業は、農業・農村の振興を図る農業生産向上の基本となるものであります。

今後、事業の推進とともに、中期効果発現が図られるよう努めてまいりますので、皆様方の一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 全国表彰される

（牧之原畑地改良区）  
整備土地改良区

## 銅章を受賞

平成二年三月二十七日に開催された第三十一回全国土地改良事業団体連合会通常総会において、当土地改良区が優良土地改良区として栄えある銅章を受賞しました。

当土地改良区も四十八年に発足して以来、十七年経過しております中で、今回このような表彰を受賞したことは国・県並びに関係機関のご指導、ご協力と役員、総代をはじめ、組合員各位のご精進の賜物だと思っております。



第22回通常総代会

## 第三十一回通常総代会の報告

全議案原案通り可決される

日 時 平成二年三月二十九日 九時三十分

場 所 島田市農業協同組合大会議室

議 長 小関 一郎氏

議事録署名人 松野 晨治氏・田辺 久氏

審議された議事

- 承 第一号 平成元年度一般会計収入支出補正予算（第三次）専決処分承認について
- 承 第二号 平成元年度職員退職給与積立特別会計収入支出補正予算（第一次）専決処分承認について
- 承 第三号 平成元年度職員退職給与積立特別会計収入支出補正予算（第二次）専決処分承認について
- 承 第四号 平成元年度経常費調整積立特別会計収入支出補正予算（第一次）専決処分承認について
- 承 第五号 平成元年度経常費調整積立特別会計収入支出補正予算（第二次）専決処分承認について
- 第一号議案 役員・総代等の報酬及び費用弁償支給規程の一部改正について
- 第二号議案 平成二年度一般会計収入支出予算
- 第三号議案 平成二年度借入金償還積立特別会計収入支出予算
- 第四号議案 平成二年度職員退職給与積立特別会計収入支出予算
- 第五号議案 平成二年度経常費調整積立特別会計収入支出予算
- 第六号議案 平成二年度経費の賦課徴収の時期及び方法について
- 第七号議案 平成二年度において関係市町より助成を受けることについて
- 第八号議案 平成二年度長期債について
- 第九号議案 平成二年度借入金について
- 第十号議案 平成二年度歳計現金預入先について
- 第十一号議案 附帯決議
- 選 第一号 役員の補欠選挙について

# 広がる「水」利用！



給水スタンドを利用する組合員

| 10月23日現在 (単位: m <sup>3</sup> ) |         |         |
|--------------------------------|---------|---------|
| 月                              | 元年度使用水量 | 2年度使用水量 |
| 4月                             | —       | 207.9   |
| 5月                             | —       | 230.8   |
| 6月                             | —       | 516.9   |
| 7月                             | 209.0   | 815.9   |
| 8月                             | 482.0   | 900.0   |
| 9月                             | 353.1   | 516.8   |
| 10月                            | 53.3    | 130.4   |
| 11月                            | 234.2   | —       |
| 12月                            | 66.5    | —       |
| 1月                             | 6.9     | —       |
| 2月                             | —       | —       |
| 3月                             | 233.9   | —       |
| 合計                             | 1,638.9 | 3,318.7 |

## 給水スタンド利用状況

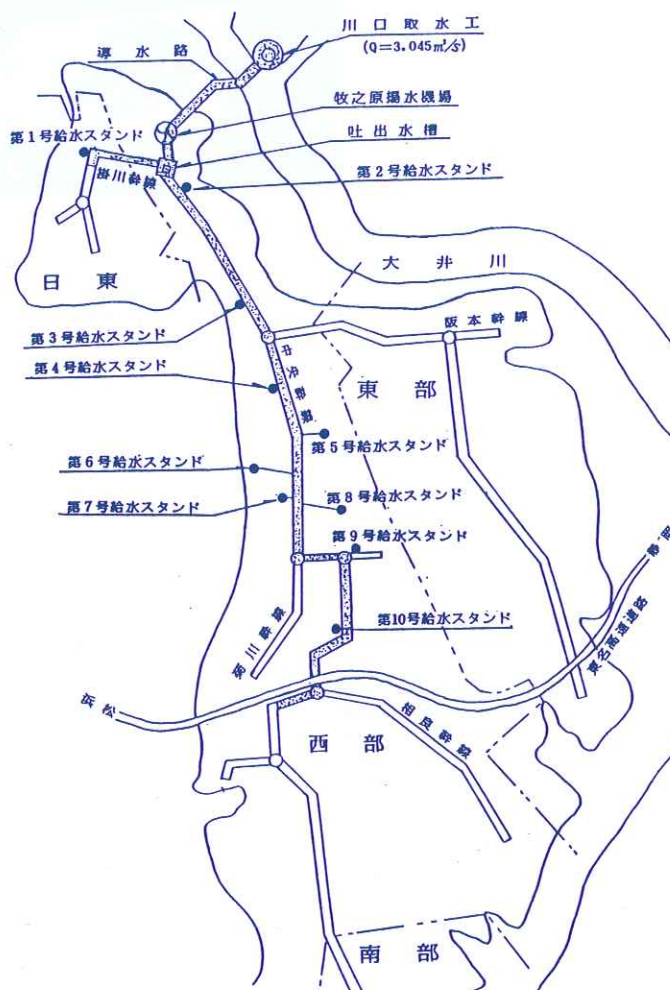
平成元年六月牧之原台地に水が揚ったのを受け、元年度四ヶ所、二年度一ヶ所、総計五ヶ所の給水スタンドを暫定的利用方法として設置し、組合員の方々に水利用を進めてまいりました。

その利用状況は、元年度（七月から翌年三月まで）一千六百三十八、二年度（四月から十月まで）三千三百十八のの水を使っていたきました。

平成三年度には、東名高速道路まで「水」利用が可能になる。

暫定利用ながら、給水スタンドを設置して、組合員の方々に「水」を利用していただく計画です。

## 平成三年度給水スタンド設置図



## 平成三年度給水スタンド利用範囲

平成三年度は、現在設置してある給水スタンド二ヶ所を移動し、さらに五ヶ所の新設を行い、総計十ヶ所の給水スタンドにより、東名高速道路北側まで「水」利用範囲を広げ、組合員のみなさんに利

用していただく計画です。

新しい給水スタンドの設置箇所は、菊川町上倉沢（金谷町との境付近）、菊川町倉沢六本松、菊川町沢水加（県立茶試西側）、榛原町切山、榛原町勝田大沢原、榛原

町布引原、相良町東萩間中原の七ヶ所を計画しております。

利用方法は、給水スタンド備え付けのノートに氏名、住所、使用水量を記入し、備え付けの料金箱に使用料（ト当り五十円）を入れるてください。

# 国営事業

## 今後の施行計画と方針

### 進捗状況について

今年の夏は例年にない暑さでございまして。

また、台風の当り年とでもいうか各地において記録的な降雨に見舞われましたが、大きな災害に至らなかった事は何よりでした。

平素は、当事業につきまして多大なる御協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

当、国営事業も順調な進捗を続け、神谷城までの管路の接続に伴い元年度に引き続き通水を行う事が出来、当該区間の暫定取水が図られております。

事業費一覧表 (単位: 百万円)

| 工 期                | 総事業費   | 元年度迄   |      | 平成2年度まで |      |
|--------------------|--------|--------|------|---------|------|
|                    |        | 事業費    | 進捗率  | 事業費     | 進捗率  |
| (予定)<br>S53<br>～H7 | 20,050 | 11,912 | 59.4 | 1,800   | 68.3 |

また、平成三年度末迄には調整水槽と幹支線水路を接続し、棚草付近までの通水を目標に、

本年度は、一号調整水槽及び榛原調整水槽建設工事のほか、部分的に未施工部分の管路の接続を行うことにより、東名高速道路横断までの通水が可能となり、現行の

総事業費に対して、平成二年度までの進捗率は約六十八割となります。

## あいさつ



関東農政局 牧之原水利事業所  
工事第一課長 本郷 隆雄

楠前課長の後任として、十月一日付関東農政局那須野原開拓建設事業所から転勤して参りました。私は、静岡の国営事業所に勤務するのは今度二度目であり、第一回は天竜川下流農業水利事業所に四十四年～四十七年まで居りました関係上、ある程度の地理的条件及び気候風土等についてもなじみのある処と思っております。

又、昭和五十四・五年頃局計画

部在職中牧之原台地の調査にて数回参りました時に、偶然にも茶園の凍霜害と塩害の被害状況をまじく見たと見た記憶があり、事業の早期完成を祈りつつ帰京した思い出があります。

さて、昭和五十三年国営事業所開設以来、初代工事課長の滝沢氏からかぞえて私で六代目となり、この間、関係各位の御協力と御支援により部分効果発生をみるこ

より効率的に部分取水の可能範囲を増延しながら、効果発現に向けて今後の施行計画を進めて参りたいと思っております。

### 施行方法については

次に、実施施工について若干ふれさせていただきます。

本事業の主要幹支線水路は、ほとんどが道路下埋設工事であり、



完成した第2号調整水槽  
(菊川町沢水加)

になりました事は喜びにたえません。

しかし、着工以来十余年経過した現在、社会の情勢変化に伴う事業計画の内容についても見直しする必要もあり、今後関係者の御理解と御協力を得ながら国営付帯事業であります県営畑総事業と密接な連携と調整を計りつつ、早期効果発現が得られるよう努力していく所存であります。

近年、農業をとりまく諸情勢は

沿線住民関係地権者の

方々には多くの御迷惑をお掛けしながら施工させていたたくわけで

ございますが、今後共

一層の御協力をお願いいたします。

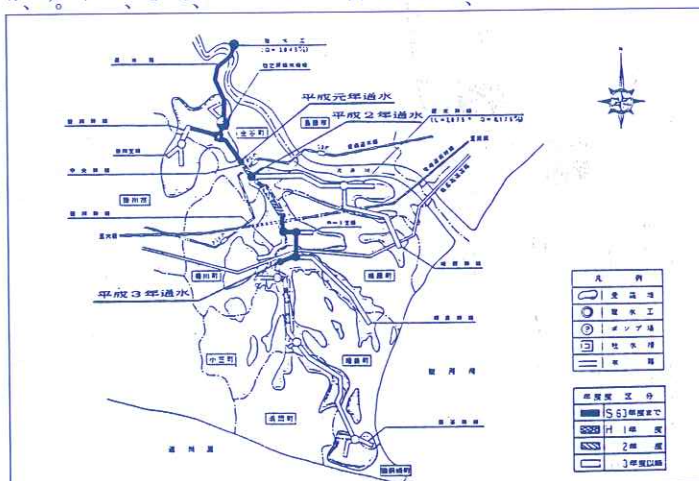
施工に当りましては、常に安全を最重点におき、諸機関の遵守事項と安全管理の徹底を計って参ります。

具体的には、路上工事のため施工区間を一〇〇メートル程度におさえ、必要防護施設を設置し、開削部は三十センチ五〇センチとして管理を行い、順次移動しながら繰り返し施工して参ります。最後になりましたが、

現在当事業は計画変更という重要な業務を抱え、一方では事業の推進を併せて行くわけでございますが、ここに重ねて関係者の皆様方の御協力の程をお願いいたします。

極めて厳しいものとなってきておりますが、地域の立地条件に即した適地適作は産地間競争に耐えるだけの基盤整備事業が先決であると思っております。

又、「水」は民生安定上欠かす事のできない社会資本であり、水利施設を確保していれば、どんな情勢変化にも対応できる営農が可



関東農政局  
牧之原農業水利事業所  
工事第二課長 岩崎 正三

能になると思ひます。

従いまして、一日も早く大井川の「水」を御前崎町まで送水すると共に、支線水路の早期完成と効果発現を願ひつつ、関係各位の御期待に沿うよう精一杯頑張らさせていただきますと存じますので、前任者同様御支援と御協力を御願ひ申し上げます。

# 県営事業

## 施工計画と方針

### 現状について

日頃、畑総事業の推進に御協力をいただきありがとうございます。

牧之原畑総は、着工以来十八年、本年度をもって、進度四十割に達しました。

先づ予算であります、本年度は、二十三億五千五百万円をもちまして、鋭意進捗に努めております。

又、来年度も本年と同額を、確保出来るよう努力しているところであります。

予算の使い方としては、畑地用水工事と道路等の基盤工事へ、各



完成した8号幹線農道  
(台地を横断し、菊川町から相良町を結ぶ)

々半々に配分して実施しております。今後は、徐々に用水工事のウエイトを高めていく予定です。

### 水利用状況は

次に用水の状況であります、国営事業により大井川の水は、本年度末には東名高速道路まで通水し金谷・掛川・菊川・榛原・相良の五市町四百八十割を潤すことになる予定です。

これを受ける県営も着実に進捗しており、本年度をもちましてファームポンドの造成は二十ブロック四百四十割に、又、給水栓・スプリンクラー等の末端施設は百六十八割に至る予定であります。

畑地用水工事の説明会も、一部を除き、ほぼ全域を終りました。御協力をいただきました市町当局・改良区・役員の皆様方へ、お礼を申し上げます。

ここで紙面を借りて、皆様へお願いをさせていただきます。

それは、ファームポンド用地の確保に、ぜひ御協力をいただきたいことでもあります。

畑地用水工事は水田と異なり、ファームポンドの位置を決定しないと、そこに至る水路も、それ以降の水路も、全く設計出来ない特殊な条件をもってあります。

牧之原用水の円滑な推進は、ファームポンド用地の確保にかかっていると言っても過言ではありません。

趣旨お汲みとりの上、より一層の御協力をお願いする次第であります。



工事中のファームポンド  
(浜岡町4ブロック V=7,000)



完成した給水栓  
(第2段階の末端施設)

### 区画整理事業の取り組みを

最後に、前号でもふれましたが、茶園の基盤整備についてであります。

本年度管内五市町で茶業振興計画を策定しており、その柱の一つが基盤整備(区画整理)であります。

牧之原の将来を思うとき、農地の流動化・作業の機械化・軽労働化などが不可欠です。区画整理や傾斜改良された茶園を、次世代に引き継ぐようではありませんか。

畑総事業といえども、用水と共にその面のお手伝いが出来ますよう期待しております。

秋冬番の刈取りを終え、来春に向けての農作業にお忙しい日々と存じます。

寒さに向かう折から、風邪など召さぬよう、お休め下さい。

静岡県

牧之原農業用水建設事務所  
技監兼事業課長

小林 啓二

### あいさつ

このたび、六月十五日付けで転任してまいりました。

皆様方の牧之原台地は、見るほど知るほどに歴史と可能性を秘めて、私の技術者の血を高ぶらせてくれます。

畑総事業は、土地基盤整備の蓄積が少ない当地域において一次開



静岡県

牧之原農業用水建設事務所

所長

敦賀 亀久雄

発投資の役割をもって、水利、道路、そして排水の整備を一挙に進め、水田に劣らないだけの生産力を作り出しつつあります。

昨今、農業の後継者が減り、水と機械力を備えた他産地の追い上げが急な中で、「牧之原茶」の地

位を全国的に不動のものにすることは、決して容易ではありません。でも、ここ台地上では、散水の輪が茶園に広がり、乗用型摘採機のエンジン音が響き、技術革新の足音が聞こえはじめています。

眼下に見下ろしてきた大井川の

水を手にされたこの時機、用水工事を中心に据え、皆様方と力をあわせて畑総事業の推進に努めさせていただきます。

変らぬ御指導と御支援をお願い申し上げます。

## 第22回通常総代会報告

## 土地改良区の予算・決算について

## 昭和63年度一般会計収入支出決算書

平成元年10月6日臨時総代会承認済

収入総額 1,169,355,450円

支出総額 1,162,715,804円

差引残額 6,639,646円

| (単位:円, △印:減) |               |              |
|--------------|---------------|--------------|
| 収入の部         | 決 算 額         | 予 算 と の 比 較  |
| 1. 組合費       | 485,217,283   | △ 250,717    |
| 2. 助成金       | 43,639,000    | 0            |
| 3. 委託料       | 306,000       | 0            |
| 4. 借入金       | 624,870,000   | △ 36,630,000 |
| 5. 負担金       | 8,000         | △ 32,000     |
| 6. 雑収入       | 8,294,452     | 739,452      |
| 7. 繰越金       | 7,020,715     | 2,520,715    |
| 合 計          | 1,169,355,450 | △ 33,652,550 |
| 支出の部         |               |              |
| 款            | 決 算 額         | 予 算 と の 比 較  |
| 1. 事務費       | 62,910,173    | △ 596,827    |
| 2. 事務所費      | 2,203,941     | △ 225,059    |
| 3. 選挙費       | 0             | △ 200,000    |
| 4. 事業費       | 829,938       | △ 151,062    |
| 5. 管理費       | 1,807,062     | △ 156,938    |
| 6. 借入金償還     | 447,235,633   | △ 553,367    |
| 7. 分担金及び負担金  | 626,263,200   | △ 36,780,800 |
| 8. 推進費       | 2,195,607     | △ 4,393      |
| 9. 調査費       | 2,235,859     | △ 107,141    |
| 10. 諸費       | 14,580,000    | 0            |
| 11. 繰出金      | 500,000       | 0            |
| 12. 徴収費      | 1,954,391     | △ 16,609     |
| 13. 予備費      | 0             | △ 1,500,000  |
| 合 計          | 1,162,715,804 | △ 40,292,196 |

## 昭和63年度借入金償還積立特別会計収入支出決算書

平成元年10月6日臨時総代会承認済

収入総額 103,321,285円

支出総額 103,321,285円

差引残額 0円

| (単位:円, △印:減) |             |             |
|--------------|-------------|-------------|
| 収入の部         | 決 算 額       | 予 算 と の 比 較 |
| 1. 決済金       | 10,710,344  | 4,210,344   |
| 2. 雑収入       | 3,880,900   | 1,080,900   |
| 3. 繰越金       | 88,730,041  | 2,581,041   |
| 合 計          | 103,321,285 | 7,872,285   |
| 支出の部         |             |             |
| 款            | 決 算 額       | 予 算 と の 比 較 |
| 1. 償還金       | 102,921,732 | 7,872,732   |
| 2. 還付金       | 399,553     | △ 447       |
| 合 計          | 103,321,285 | 7,872,285   |

## 昭和63年度職員退職給付積立特別会計収入支出決算書

平成元年10月6日臨時総代会承認済

収入総額 32,577,737円

支出総額 32,577,737円

差引残額 0円

| (単位:円, △印:減) |            |             |
|--------------|------------|-------------|
| 収入の部         | 決 算 額      | 予 算 と の 比 較 |
| 1. 繰入金       | 14,230,000 | 0           |
| 2. 雑収入       | 481,643    | △ 418,357   |
| 3. 繰越金       | 17,866,094 | △ 6,341,906 |
| 合 計          | 32,577,737 | △ 6,760,263 |
| 支出の部         |            |             |
| 款            | 決 算 額      | 予 算 と の 比 較 |
| 1. 退職給付金     | 32,577,737 | △ 6,760,263 |
| 合 計          | 32,577,737 | △ 6,760,263 |

## 昭和63年度経常費調整積立特別会計収入支出決算書

平成元年10月6日臨時総代会承認済

収入総額 5,648,965円

支出総額 5,648,965円

差引残額 0円

| (単位:円, △印:減) |           |             |
|--------------|-----------|-------------|
| 収入の部         | 決 算 額     | 予 算 と の 比 較 |
| 1. 繰入金       | 500,000   | 0           |
| 2. 雑収入       | 174,417   | 1,417       |
| 3. 繰越金       | 4,974,548 | 73,548      |
| 合 計          | 5,648,965 | 74,965      |
| 支出の部         |           |             |
| 款            | 決 算 額     | 予 算 と の 比 較 |
| 1. 積立金       | 5,648,965 | 74,965      |
| 合 計          | 5,648,965 | 74,965      |

## 昭和63年度財産目録 (平成元年5月31日調製)

## ◇資産の部

○流動資産 3,663,549円  
 現金及び預金 1,691,419円  
 未収入金 1,972,130円  
 ○特定資産 131,618,081円  
 農地転用決済金 104,005,981円  
 職員退職給付引当金見込預金 21,963,137円  
 経常費調整積立預金 5,648,963円

○固定資産 118,647,578円  
 土地 50,000,000円  
 建物 55,348,000円  
 機械器具 3,767,000円  
 備品 9,532,578円  
 合 計 253,929,208円

## ◇負債の部

○長期負債 6,185,951,306円  
 ○短期負債 8,110,000円  
 ○積立金 27,612,100円  
 合 計 6,221,673,406円

## 平成2年度一般会計収入支出予算

平成2年3月29日総代会可決

収入予算額 1,276,834,000円

支出予算額 1,276,834,000円

| (単位:円, △印:減) |               |               |
|--------------|---------------|---------------|
| 収入の部         | 本 年 度 予 算 額   | 前 年 度 と の 比 較 |
| 1. 組合費       | 520,167,000   | 41,067,000    |
| 2. 助成金       | 47,885,000    | 2,701,000     |
| 3. 委託料       | 18,805,000    | 8,829,000     |
| 4. 管理費       | 940,000       | △ 617,000     |
| 5. 借入金       | 667,750,000   | △ 13,250,000  |
| 6. 負担金       | 40,000        | 0             |
| 7. 繰入金       | 6,124,000     | 2,475,000     |
| 8. 雑収入       | 10,423,000    | 3,087,000     |
| 9. 繰越金       | 4,700,000     | △ 1,300,000   |
| 合 計          | 1,276,834,000 | 42,992,000    |
| 支出の部         |               |               |
| 款            | 本 年 度 予 算 額   | 前 年 度 と の 比 較 |
| 1. 事務費       | 71,710,000    | 2,828,000     |
| 2. 事務所費      | 2,439,000     | △ 286,000     |
| 3. 選挙費       | 200,000       | △ 2,341,000   |
| 4. 事業費       | 5,328,000     | 4,388,000     |
| 5. 管理費       | 22,712,000    | 2,559,000     |
| 6. 借入金償還     | 486,088,000   | 42,563,000    |
| 7. 分担金及び負担金  | 669,175,000   | △ 13,369,000  |
| 8. 推進費       | 2,650,000     | 150,000       |
| 9. 調査費       | 3,723,000     | 1,521,000     |
| 10. 諸費       | 3,822,000     | 129,000       |
| 11. 繰出金      | 720,000       | 120,000       |
| 12. 徴収費      | 6,455,000     | 4,418,000     |
| 13. 予備費      | 1,812,000     | 312,000       |
| 合 計          | 1,276,834,000 | 42,992,000    |

## 平成2年度借入金償還積立特別会計収入支出予算

平成2年3月29日総代会可決

収入総額 127,026,000円

支出総額 127,026,000円

| (単位:円, △印:減) |             |               |
|--------------|-------------|---------------|
| 収入の部         | 本 年 度 予 算 額 | 前 年 度 と の 比 較 |
| 1. 決済金       | 7,000,000   | △ 500,000     |
| 2. 雑収入       | 6,700,000   | 2,963,000     |
| 3. 繰越金       | 113,326,000 | 11,656,000    |
| 合 計          | 127,026,000 | 14,119,000    |
| 支出の部         |             |               |
| 款            | 本 年 度 予 算 額 | 前 年 度 と の 比 較 |
| 1. 償還金       | 127,026,000 | 14,119,000    |
| 合 計          | 127,026,000 | 14,119,000    |

## 平成2年度職員退職給付積立特別会計収入支出予算

平成2年3月29日総代会可決

収入総額 33,054,000円

支出総額 33,054,000円

| (単位:円, △印:減) |             |               |
|--------------|-------------|---------------|
| 収入の部         | 本 年 度 予 算 額 | 前 年 度 と の 比 較 |
| 1. 繰入金       | 3,460,000   | 117,000       |
| 2. 雑収入       | 2,000,000   | 1,250,000     |
| 3. 繰越金       | 27,594,000  | 5,688,000     |
| 合 計          | 33,054,000  | 7,055,000     |
| 支出の部         |             |               |
| 款            | 本 年 度 予 算 額 | 前 年 度 と の 比 較 |
| 1. 退職給付金     | 33,054,000  | 7,055,000     |
| 合 計          | 33,054,000  | 7,055,000     |

## 平成2年度経常費調整積立特別会計収入支出予算

平成2年3月29日総代会可決

収入総額 8,165,000円

支出総額 8,165,000円

| (単位:円, △印:減) |             |               |
|--------------|-------------|---------------|
| 収入の部         | 本 年 度 予 算 額 | 前 年 度 と の 比 較 |
| 1. 繰入金       | 720,000     | 120,000       |
| 2. 雑収入       | 300,000     | 103,000       |
| 3. 繰越金       | 7,145,000   | 1,497,000     |
| 合 計          | 8,165,000   | 1,720,000     |
| 支出の部         |             |               |
| 款            | 本 年 度 予 算 額 | 前 年 度 と の 比 較 |
| 1. 経常費調整金    | 8,165,000   | 1,720,000     |
| 合 計          | 8,165,000   | 1,720,000     |